

例会 NO 131

No 3- 44 1993. 6. 30 発行



1992~1993RIテーマ  
まことの幸福は  
人助けから  
RI会長 クリア・マクダーマン

Tokyo  
Green  
Rotary Club

# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

~~~~~ 第131回例会報告(6/23) ~~~~~

司会 SAA 佐伯 和廣

☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング「それでこそロータリー」

ソングリーダー SAA 若林 滋和

☆お客様紹介 会長 赤尾 恭雄

石田 政昭様(東京大井RC)

布田 正昭様(東京多摩RC)

地区青少年交換委員会委員長)

網沢志津子様(青少年交換留学生)

網沢 俊子様(同母親)

山中いずみ様(青少年交換留学生)

山中 英子様(同母親)

☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

理事会報告

第22回理事会を開催し、下記事項について  
審議決定した。

①本年度最終例会の開催要領については昨  
年に準じ、最終例会及び懇親パーティー  
実施。夫人同伴を極力推奨、特別会費、  
会員10,000円(夫人は無料招待)。

②93-94年度青少年交換(派遣)学生カ  
ウンセラー決定

高野 範城カウンセラー(山中いずみ担当)

村上 久カウンセラー(網沢志津子担当)

以上、前回理事会の指名通り両会員の承諾  
を得た。

6月22日(火)、高輪プリンスホテルで開  
催された地区打上げ懇親会の席上、本年度ク  
ラブ業績の表彰が行われ、当クラブは「バラ  
ンスのとれたクラブ業績に対するRI会長賞」  
および「会員増強率優秀賞」を受賞した。

☆幹事報告 幹事 遠藤 二郎

\*例会場変更 東京駒場RC

平成5年7月6日(火)第1例会日より例  
会場を東邦生命ビル32階「ラ・ロシェル」  
に変更(Tel. 03-3400-8220)。

例会時間は従来どおり。

ビジターフィー ¥ 4,500円

\*例会臨時休会 東京西RC

7月9日(金)→臨時休会

\*昨日の地区打ち上げ会の席上、国際ロータ  
リー第2750地区職業奉仕委員会の編成によ  
る『ロータリーで言う、職業奉仕とは(実  
践と流れとその心)』という本が配布され  
ました。事務局に置きますので次年度職業  
奉仕委員の方は読んで下さい。

☆次年度会務報告

会長エレクト 横倉 舜三

次年度の役員、理事の方々は6/30最終例会  
前、5時30分までに京王ホテル4F樹林に集  
合して下さい。7月7日例会後、夜第1回理  
事会を事務局にて開催いたします。

☆委員会報告

★出席委員会 委員長 宮本 誠

本日、出席報告が遅くなったのは新入会員の入会式が済まない、会員総数の変更ができないためです。

|      | 総数 | 出席 | MU | 欠席 | 出席率    |
|------|----|----|----|----|--------|
| 本日報告 | 46 | 39 | 0  | 7  | 84.78% |
| 前回訂正 | 44 | 37 | 4  | 3  | 93.18% |

出席免除者 3名

〔欠席届出者〕 風間 茂穂、小坂 一郎、大熊 将夫 城倉 正博、高野 範城

〔欠席者〕 中山 恒武、横倉 恒雄

〔先週のメイクアップ〕

中山順一郎 (6/22 多摩RC)

津守 弘範 (6/22 多摩RC)

横倉 恒雄 (6/15 多摩RC)

高村 弘 (6/15 多摩RC)

★親睦委員会 親睦委員 森田 舞子

ニコニコBOX

赤尾 恭雄 根本様、臼井様、入会おめでとうございます。また、網沢志津子さん、山中いずみさん、交換学生に合格され、おめでとうございます。

遠藤 二郎 根本様、臼井様入会おめでとう御座居ます。交換派遣候補生の網沢さん、山中さんようこそ。

杉田 誠 佐伯さん写真ありがとうございます。

松原 健 お久しぶりです。

猪股 末男 今日は皆様にお逢い出来てうれしいです。

平野 行廣 根本さん入会お目出度うございます。

伊神 稔 財布が自宅にあります様に。

藤本 吉文 足立さん、先週はどうもありがとうございました。

津守 弘範 親睦旅行のお土産ありがとうございました。

関岡 俊二 胃かいようが少しつつ快方に向かっています。

森田 舞子 今日は最後の発表をさせて頂きました。

海野 栄一 新入会員をお迎えて。

以上合計 26,000円

~~~~~ 【3分間ミニ情報】 ~~~~~

「ロータリーの定款と細則」 伊神 稔

ロータリーの定款と細則とは国際ロータリーの定款と細則のことで、定款とは読んで字のごとく規則をもうけてあり、その基本的な規則に基づいて、細則は出来ている。この定款には国際ロータリーには第1条から16条の



改正に至るまで内面的とらえ方をし、はっきりとした呼名を文字に表している。たとえば定款の1には、理事会と言ったらこれは国際ロータリーの理事会の事であり、クラブと言ったらロータリークラブである。この様に定められてあり、それに基づいて、この規則を逸脱しないで国際ロータリーの細則が第1条から320条まであります。定款及び細則は、前回の例会にても赤尾会長自らの司会にて総会で決議が行われました様に、すべて1992年の手続要覧にのっとって現在進行しているのであります。この様にこの定款・細則に即した上にて我々の多摩GRCの定款・細則が決まっている訳です。これら全てが国際ロータリーの文章の中で決められております。第13条「綱領の受諾と定款・細則の遵守」にあります様に、「いかなる会員も、定款・細則の印刷物を受け取らなかったことを理由として、定款・細則の遵守を逃れることはできない。」とあります。定款・細則にしても決まりは守りましょう。ただ守らなくともこれらの一番の目的は、本当に親睦、奉仕、四つのテスト他が大事であり規則は守らなくてはいけない物ではなく、心が大切であり一番RCが目指している根本的基本方針、これは多摩グリーンRCの3条と国際Rの4条に明記してある綱領に基づいているこれです。

地区青少年交換派遣候補生紹介

地区青少年交換委員会委員長

布田 正昭様

ご紹介させていただきます。5月30日、6月6

日の一次、二次の試験に合格されましたお2人をお連れしました。お2人の合格のポイントはと言いますと、網沢さんは当日見事な字で、「国際理解の仲介人」と書かれた物をお持ち頂いて合格、山中さんはスポーツの弱そうな体ですが、少林寺の形をきれいに決めて合格と成りましたので、よろしく願い致します。



左から2番目網沢さん・お母様

4番目山中さん・お母様

~~~~~【網沢 志津子さん挨拶】~~~~~

はじめまして、私は今回で3回目のロータリー交換学生試験に合格致しました。皆様どうかよろしく願いいたします。

~~~~~【中山 いずみさん挨拶】~~~~~

はじめにお目にかかります。この度はほんとうにありがとうございました。先程少林寺の事を言われましたが、12年間バイオリンを習っていますので是非、機会がありましたら一度お聞かせしたいと思えます。

~~~~~【新入会員入会式】~~~~~

会員増強委員長 海野 栄一

新入会員 臼井 博様、 根本 泰守様



〔左：根本様 右：臼井様〕

推薦者 内藤 實会員、平野 行廣会員  
バッチ及び会員章の授与

会長 赤尾 恭雄

四つのテストその他の授与

職業奉仕委員長 小島 周二郎  
カウンセリングアドバイザー

臼井会員には 若林、奥木両会員

根本会員には 平野、海野両会員

~~~~~【ご挨拶】~~~~~

根本 泰守会員

はじめまして、連光寺で酒屋をやっておりますので宜しくお願い致します。又多摩市酒販組合の組合長をさせて頂いておりますのでアルコール問題がありましたら相談に乗せて頂きますので宜しくお願い致します。

臼井 博 会員

多摩に来まして3年勤務させて頂いております。その間ホテル業と致しまして、皆様、お客様としてのお顔は存じておりますが、今後はロータリアンとしてご指導を受けこれからはこの地区に貢献したいと思えますので、よろしく願いいたします。

☆会報委員会報告 委員長 奥田 文夫

5月末、全会員対象に「会報に関するアンケート」をとらせて頂きましたが、その集計結果を本日発表いたします。項目別の詳細は会報に記載いたしましたので、ご参照下さい。

会員の大意は、

- 1) 会報はほとんどの会員が良く目を通している。
- 2) 4ページか2ページかについては、ほぼ半々に意見が分かれている。
- 3) 卓話や、3分間ミニ情報等記事については、約1/3の会員が、内容まで記載しなくても良いとしています。

これは、会報委員の労力が大変だという配慮が含まれていると思われる。

その他種々、貴重なご意見をいただきましたので、これは次年度会報委員会へつなげていきます。

~~~~~【卓話】~~~~~( / )~~~~~

—南画水墨について—

日本南画院々友 中村 三木様

黄河周辺に発達した思想

1. 孔子の思想 忠君愛国とか言った規則ずくめで物事を決めてしまう学問が発達した。
2. 孟子の思想 人間は自然に溶け込んで自

由奔放な活動をする。これらの傾向が南によって揚子江周辺に及び揚子江をはさんで北に発生したのを、北画、南を南画と言った。



### 3. 南画の渡来と現況

日本に南画が初めて渡来したのは享保11年（1726）清人画家「伊孚丸」が長崎来日の折である。その後南画の大きな影響で祇園南海、柳沢淇園、谷文晁、渡辺華山などの画家を輩出したが中国南画を基盤に強烈な個性を開花させ日本南画を大成させたのは与謝蕪村、浦上玉堂らである。

日本南画の隆盛期は寛政～化政期当時日本で絵といえば南画と浮世絵であったが、その後個性的な南画は姿を消してしまい、明治になって西洋画の輸入や狩野派再興から生まれた、新日本画に押されて南画家の活躍は衰えたが、この様な中において富岡鉄斎、橋本寒雪の足跡は近代美術史上に残るものであった。

終戦を迎え経済の高度成長と共に南画壇は完全に復興し、昭和34年（1959）河野秋邨、河口楽土…の努力によって日本南画院が創設され今日に及んでいる。又最近では国内はもとより欧米人の間にも広まっている。

今後南画水墨の隆盛を保つためには、東洋画に固有する墨の描写、この原点に帰すること、つまり墨を主とし、色彩を従として、東洋の墨と西洋の色を融合し、自分個性を十二分に生かした独自の絵画を創作するのに努力すべきである。

### 4. 南画水墨と西洋画

南画水墨：形成や因習にこだわらず心、つまり知・情・意で描く。対象の形や色にとらわれず心で描くのであるから表現は自由である。自由な表現といっても、現実描写を無視するのではなく、自然の内容を一層高く豊かに表現するために現実描写をしっかりと踏ま

え、これを乗り越えて描き対象からくる迫力、理想化対象からの飛躍等を合わせて個性的に表現するのである。

西洋画：写生する時対象をあるがままに再現するから自然への絶対服従の態度である。対象を色彩で描く。写生を基礎にして構成される。この点南画水墨は対象の写生から飛躍し、精神に結びつき胸中に去来する世界を自由自在に表現できる。

5. 水墨と墨彩：水墨画とは、墨のみで描く絵だと単純に考えている者が多いが、水墨画であっても色を用いる場合がある。「看板に偽りなし」を主張するなら、「墨彩画」と称すればよいと思う。自然界にあるものは総て色をもっている。墨は色があってこそ美しく、色は墨があってこそ一層美しく輝くので、この相関関係を深く考えなければならない。水墨画の着色は、日本画の着色と同じであってはならない。南画水墨は心の絵画である。写生画に着色するのと同じにならないように、墨を自由自在に使いこなすように色も自由奔放に使いこなすことが必要である。

以上が私が過去10数年間に於いて指導して下さった我が師「河口楽土先生」による南画水墨の概要である。

—吾が説語—

水墨の世界は洋画の世界とは大変異なり、精神性の高い世界である。

特に水を含んだ墨と吸湿する紙との係わり合いは微妙で、筆の停滞は滲みとなり、早さは掠れとなる。又洋画の遠近法や絵の具の重ねや陰影に代わって、遠近逆転や、強調や、省略のドラマがある。

又、唐紙、和紙など様々な紙質があるが、水墨の受付は全く異なり、又筆も墨も硯もそれぞれの性格を謳っている。

水墨の道に踏み込んでその不思議な魅力に惹かれ表現の暗夜を行路する気持ちで今日も歩んでいる。



## 東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範 委員：北村幸彦  
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和典・隅 耕造  
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F  
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

\*例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

\*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30